

令和2年度第6回安塚区地域協議会次第

日時：令和2年9月29日（火）午後7時から

場所：安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 報 告

(1) 「公の施設の再配置計画」の策定について 資料 No. 1-1 資料 No. 1-2

(2) 地域活動支援事業に係る課題等について 資料 No. 2

4 協 議

(1) 地域活動支援事業における採択事業の現状確認について 資料 No. 3

5 その他

(1) 次回開催 令和 年 月 日（ ）午後 時 開会

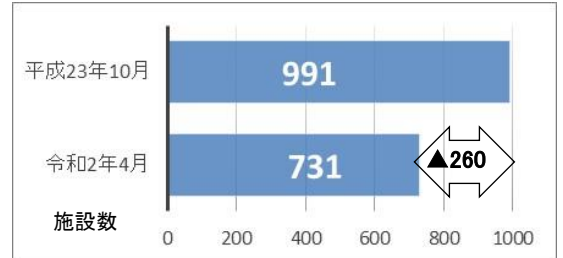
6 閉 会

「公の施設の再配置計画」の取組について

1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

(1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



(2) 現状と課題

現 状

○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1現在の人口：190,042人)

○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

課 題

- 人口の減少

- 施設機能の重複する配置

- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制

- 施設機能の適正な維持

*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

2 公の施設の再配置計画(個別施設計画)について

(1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

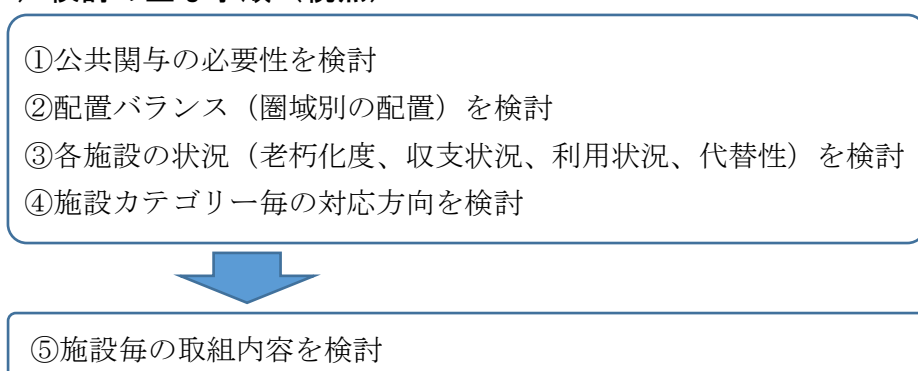
(2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

(3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	機能の集約
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

(4) 検討の主な手順（視点）



3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
〈参考〉 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 ➡ 答申 ○市議会で議決 ➡ 施設の再配置（廃止、譲渡等）

公の施設の再配置計画における各施設の方向性

資料No1-2

【現状維持】

【16 安塚】

番号	施設名	施設カテゴリー	今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考
				説明		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
1	安塚多目的交流施設	12 屋内ゲートボール場	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
2	安塚保健センター	14 保健センター	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
3	安塚診療所	15 医療機関	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
4	安塚B&G海洋センター	16 体育館	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
5	安塚和田スポーツ公園(グラウンド)	18 多目的広場・グラウンド	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
6	六夜山荘	26 交流宿泊施設	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
7	菱の里	26 交流宿泊施設	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
8	キューピットバレイスキー場	27 観光施設	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	宿泊施設「久比岐野」を含む
9	雪だるま物産館	29 農林水産業振興施設	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
10	雪中貯蔵施設	36 産業関連施設(その他)	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
11	菱里地域生涯学習センター	46 生涯学習センター	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	やすづか学園(運営:社会福祉協議会)として活用
12	安塚コミュニティプラザ(安塚地区公民館)	49(47) コミュニティプラザ(公民館)	現状維持		-	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

【再配置】

番号	施設名	施設カテゴリー		今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考				
				説明			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
1	安塚かたくりの家	10	高齢者共同住宅	廃止	利用実態等を踏まえ、類似施設や公営住宅等への機能移転を進め、令和3年度から休止し、令和4年度に廃止する。	R4	休止	廃止													
2	ゆきだるま温泉雪の湯	24	日帰り温浴施設	廃止	雪の湯は、設備全般に老朽化が激しく、源泉の水位の低下も著しいため、湯の消費量が多い大浴場を維持することが困難であることから、隣接する宿泊施設「久比岐野」に日帰り温浴機能を集約し、廃止する。	R3	廃止														休館中
3	菱ヶ岳グリーンパーク	30	キャンプ場	廃止	キャンプ場の機能は休止しており、棚田動植物園のキャンプ場で代替されることから廃止する。	R3	廃止														
4	樽田そば処	28	飲食施設	貸付又は譲渡	貸付又は譲渡を推進し、譲渡(貸付)先がなければ現行の指定管理期間(令和5年度末)をもって廃止する。	R5	継続	⇒	貸付又は譲渡												
5	中川地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R7	継続	⇒	⇒	⇒	貸付又は譲渡										
6	伏野地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R7	継続	⇒	⇒	⇒	貸付又は譲渡										
7	須川地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R7	継続	⇒	⇒	⇒	貸付又は譲渡										
8	船倉地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	廃止	利用実態を踏まえ、廃止する。	R3	廃止														
9	安塚克雪管理センター	48	地区集会施設	廃止	利用実態と維持管理経費を踏まえ、廃止する。	R3	廃止														
10	田舎屋	26	交流宿泊施設	廃止	平成28年度から休止しており、利用実態と施設の老朽化を踏まえ、令和2年度に廃止する。	R2															令和2年度中に廃止予定のため、令和3年度からの再配置計画には掲載しない施設

地域活動支援事業に係る課題等について【集計結果】

1 制度全般について

■協議を要しない事項

- ・ 現行のとおりでよい。
- ・ 各区それぞれの地域による基準を尊重する。
- ・ 幅広い内容の事業が補助対象となっており、問題ない。
- ・ 地域に人が少なくなり、活気がなくなっている状況の中で、地域を盛り上げようと提案し、実行することに対して、支援を行える良い制度である。
- ・ 地域が元気になる活動に対しての支援となるため、制度を続けてもらいたい。
- ・ 「消火栓については、地域活動支援事業の補助対象としない」という件について、市全体で統一された基準となっているのか？

⇒令和2年度からの取扱いとして、「提案者が消防団以外であったとしても、事業内容が消防団の活動（※専ら消防団が使用する消防資器材の整備を実施する事業も含む）に特化される場合も同様に提案することはできない。」こととなりました。令和2年6月改訂の「令和2年度地域活動支援事業に関するQ&A」において、上記内容が掲載されています。

■協議を要する事項

- ・ 毎回ほぼ同じ団体が提案書を出している。
- ・ 複数回申請している団体について、自助努力をしているかどうか（申請内容が毎年同じではないか）確認しても良いのではないかと感じている。
- ・ 高齢化や人口減少の進行により、制度も行き詰まるのではないかと感じている。
- ・ 活性化につながる事業が少ない。
- ・ 安塚区の審査・採択のルールでは、「提案団体の代表者が委員である場合は、採択に関する協議に参加できるが、採点者にはしない」と定められている。今回の小黑自治会提案の「集落イメージアップ事業」のように委員が代表を務める業者が業務を受注するケースは想定されていない。議会では、自己及び配偶者または二親等以内の血族が直接的な利害関係にある事案は、公正性を保つために除斥制度が設けられている。地域活動支援事業についても、市が基本ルールを定めた方が良いと思う。
- ・ 提案者が総合事務所に相談した際の指導やアドバイスに疑問がある。例えば「山のうえの雪まつり事業」のように社会情勢の認識や予算の欠陥に関して、踏み込んだ助言をしすぎではないか。勿論、提案者の意欲・熱意を削ぐことがあってはならないが、提案者に慣れが生まれ、取組みの安易さが見受けられる。協議会の付度や力量不足が世間から指摘されていることに鑑み、指導や助言を行う際は一定の厳格さが必要であると思う。

2 安塚区の採択基本方針について

■協議を要しない事項

- ・ 現行のとおりでよい。
- ・ 採択基本方針に問題はないと思う。
- ・ 基本方針に合っているのであれば、特に制限を設ける必要はないと思う。
- ・ 安塚を元気にしたいという気持ちから事業の提案がされているため、原則として採択する方針でよい。

■協議を要する事項

- ・ 補助率が事業費の 100%となっているのは、いかがなものか。

3 プレゼンテーション・採点・審査方法について

■協議を要しない事項

- ・ できれば最低でも今年度のように時間をかけたいところであるが、発表団体の数が多い場合、プレゼンテーションと審査に数日間要することとなり、決定に遅延が生じてしまうため、現行のとおりでよい。
- ・ プレゼンテーションは必要であるが、社会状況に合わせ、臨機応変に対応する形で良いと思う。

■協議を要する事項

- ・ プレゼンテーションではなく、当初募集の時のように書面による質疑・回答の形式でも良いのではないか。
- ・ プレゼンテーションと質疑応答について、各 10 分間の時間配分では短すぎた。当初募集の時のようにあらかじめ疑問点についてとりまとめ、回答をもらったうえでプレゼンテーションを実施した方が良かったと思う。時間内ではできなかった質問がいくつか残った。
- ・ プレゼンテーション後、すぐに採点するよりも後日（2～3 日後）採点する方が、正確に審査ができるのではないか。
- ・ 採択されるために必要な採点の平均点 15 点以上は条件として厳しく、どうしても審査が甘くなってしまう。
- ・ 審査をするうえで、住民の参加性や事業の継続性について、考慮すべきである。

4 その他全体に係る課題、改善点等

■協議を要しない事項

- ・ 課題、改善点が生じた場合、必要に応じて検討を行えば良い。

■協議を要する事項

- ・ 代表者がプレゼンテーションに出られないような提案は採択から除外すべきだと思う。
- ・ 各地域には補助を必要としている団体が申請をしないで活動を行っているところもある。市としても町内会長会議等の際に事例を挙げて説明しているが、広報活動の一つの方法として、地域懇談会等地域のことを考えている方が集まる場で、事例を紹介し、事業の理解と申請のハードルを下げた申請の裾野を広げるための取組みをしてはどうか。

- ・協議会で事業実施の可否を決めるだけでなく、問題点があった場合にどうしたらその事業が実現できるのか、協議会としても一緒に考え、実現できるようにすることが大切であると思う。
- ・地域活動支援事業の審査に要する負担が大きく、地域協議会での自主的審議が進みにくいという問題があると思う。

安塚区地域活動支援事業採択結果一覧【H30、R1採択事業のみ抜粋】

(単位:円)

年度	事業の名称	団体等の名称	事業費 (提案時)	補助希望額	交付決定額	市が行う事業 としての執行額 ※H22～25のみ該当	事業内容	事務局コメント(想定される視察内容等)
H30	直峰町内会防災 力強化事業	直峰町内会	298,000	290,000	140,000	-	町内住民の防災意識の高揚及び自治会間での連携強化を目的に、町内全体の防災力の強化とともに、発電機を整備し、より災害時に近い防災訓練を実施する。	・購入した発電機の管理状況の確認 ・令和元年度以降の発電機を使用した防災訓練の実施状況の聞取り
H30	安塚jrアルペン スキークラブ育成 事業	安塚スキークラブ	934,000	930,000	800,000	-	サマースキーセットやスタートワックス等を購入し、練習環境を整備する。また、定期練習会の開催や各種大会等への参加の促進、選手のサポートコーチングにより、将来世界に通じるスキー選手の育成を図る。	・購入したサマースキーセット等の備品の管理状況の確認
H30	自主防災資材の 整備事業	おぐろ町内会	768,000	750,000	750,000	-	訓練・災害時に必要とされる資材を整備し、実践的な防災訓練や災害時の活用を通して住民の防災意識の高揚を図るほか、資材の共同利用による地域の連帯と防災力の向上を図る。	・購入した防災資材の管理状況の確認 ・各自治会における令和元年度以降の防災資材を活用した防災訓練の実施状況の聞取り
H30	郷土の自然・史跡 探訪推進事業	安塚自然友の会	350,000	350,000	310,000	-	史跡の歴史的な価値について住民が再認識できるよう、直峰松之山大池県立自然公園の一部である「直峰城跡」についてガイドブックを作成する。また、松崎・城山遊歩道での観察会を通して、地域の自然と歴史の豊かさについて知ってもらう。	・令和元年度以降の観察会やウォーキングにおけるガイドブックの活用状況の聞取り
H30	安塚町内会活性 化事業	安塚町内会	926,000	920,000	620,000	-	安塚町内会最大の行事でもある春・秋祭りを盛り上げるために法被・帯・鈴を購入し、町内会住民の一体感・連帯感を高めることで、活気に満ち溢れた町内会を目指す。	・購入した法被等の令和元年度以降の活用状況の聞取り
H30	安塚夢と希望の体 験プレゼント事業	安塚小学校PTA	723,000	720,000	720,000	-	カホン作りとペインティングのワークショップを実施し、子どもたちが普段できないような夢と希望の詰まった体験を経て、安塚の素晴らしさを知り、経験豊富な大人へと成長していくきっかけをつくる。	イベント実施を主な内容とする事業であるため、視察は難しい

年度	事業の名称	団体等の名称	事業費 (提案時)	補助希望額	交付決定額	市が行う事業 としての執行額 ※H22～25のみ該当	事業内容	事務局コメント(想定される視察内容等)
H30	「やすづか歩天 まつり」運営事業	安塚商工会	1,500,000	700,000	680,000	—	安塚区の夏の一大イベント「やすづか歩天まつり」を開催する際に必要なテーブル、椅子、発電機等のリース料や広告宣伝費を補助し、地域の賑わいの創出と住民の交流の場の提供を行う。	イベント実施を主な内容とする事業であるため、視察は難しい
H30	沼木の里づくり推 進事業	朴の木自治会	593,000	580,000	580,000	—	柳葉ひまわりの素晴らしさを多くの人に伝えるため、前年度に引き続き棚田カフェを開催する。また、来場者が安心して景色を楽しんでもらえるよう、駐車場とトイレ用水の整備を行う。	・整備した駐車場及びトイレの現地視察 (トイレの設置自体はH29事業)
H30	行野自主防災施 設(消火栓器材格 納庫)の整備事業	行野自治会	608,000	600,000	600,000	—	集落内の消火栓器材格納庫の老朽化に伴う更新のほか、放水訓練や防火座談会を実施することで、災害時の初期消火体制の重要性を認識し、地域住民の安全・安心を確保する。	・整備した消火栓格納庫の管理状況の確認 ※設備等の管理について、徹底するよう求める旨の附帯意見あり
R1	安塚区高齢者いき いき支援事業	安塚トリットボール 普及会	336,432	330,000	330,000	—	高齢者の筋力低下や生活機能低下予防のため、トリットボールを実施する。トリットボールを通じ、高齢者の生きがいづくり、健康寿命の延伸に寄与するほか、他地域や子ども会との交流によりコミュニティ力のアップを図る。	・購入した備品の管理状況の確認 ・令和元年度以降の練習会や講習会の開催状況等の聞き取り
R1	安塚jrアルペン スキークラブ育成事 業	安塚スキークラブ	493,232	490,000	490,000	—	スタートワックスや撮影機材等を購入し、練習環境を整備する。また、定期練習会の開催や各種大会等への参加の促進、選手のサポートコーチングにより、将来世界に通じるスキー選手の育成を図る。	・購入した備品の管理状況の確認 ・撮影機材を活用した練習の取組み状況の聞き取り
R1	雪のふるさと安塚 PR事業	安塚商工会	908,280	800,000	800,000	—	安塚区松崎に設置している観光案内看板の修繕・更新を行い、来訪者・観光客への地域PRを実施する。また、灯の回廊時には観光看板に「歓迎」の電飾を設置し、地域活性化と観光振興を図る。	・整備した看板の現地視察
R1	自主防災資材の 整備事業	おぐろ町内会	836,520	830,000	830,000	—	訓練・災害時に必要とされる資材を整備し、実践的な防災訓練や災害時の活用を通してさらなる住民の防災意識の高揚を図るほか、資材の共同利用による地域の連帯と防災力の向上を図る。	・購入した防災資材の管理状況の確認 ・各自治会における令和元年度以降の防災資材を活用した防災訓練の実施状況の聞き取り
R1	円平坊防災意識 向上事業	円平坊自治会	380,000	380,000	380,000	—	集落内の消火栓器材格納庫の老朽化に伴う更新を行うほか、消火訓練や防災講話を実施することで、地域の防災意識の向上を図り、高齢者でも初期消火に対応できる地域づくりを目指す。	・整備した消火栓格納庫の管理状況の確認 ※ホースを活用した防災訓練を毎年実施するよう求める旨の附帯意見あり

年度	事業の名称	団体等の名称	事業費 (提案時)	補助希望額	交付決定額	市が行う事業 としての執行額 ※H22～25のみ該当	事業内容	事務局コメント(想定される視察内容等)
R1	和田自治会防災 用具格納庫整備 支援事業	和田自治会	820,800	820,000	820,000	—	防災資材等を収納する格納庫を更新するほか、防災訓練や防災講話を実施することで、自治会住民の防災意識の高揚を図り、地域の安全・安心を確保する。	・整備した防災資材格納庫の管理状況の確認 ・令和元年度以降の防災訓練の実施状況の聞き取り
R1	安塚町内会にこに こ事業	安塚町内会	265,739	240,000	240,000	—	町内会で高齢者の引きこもりを防ぐための交流の場を提供し、運動、ゲーム等ができる備品を整備することで筋力低下や認知症予防を図り、元気で自立した高齢者が多い地域を目指す。	・購入した備品の管理状況の確認 ・令和元年度以降の備品を活用した取り組み状況の聞き取り
R1	安塚雪んこのびの び育成事業	安塚小学校PTA	335,456	330,000	330,000	—	文化祭でこども祭を開催し、児童、保育園児、地域の子どもたちに昔懐かしい縁日のワクワク、楽しさを体験してもらう。人数が少ないからこそできる人と人との密接な関わりを通して、経験豊富な大人へと成長するきっかけを作る。	・購入した備品の管理状況の確認 ※備品の維持管理について、徹底するよう求める旨の附帯意見あり
R1	山のうえの雪まつ り事業	山のうえの雪まつ り実行委員会	3,630,725	1,000,000	980,000	—	安塚の地域資源である雪と、キューピットパレイスキー場の土地を有効活用したイベントを通じて、交流人口の増加を図る。新潟県内では珍しい手筒花火の演出を目玉としたイベントを実施し、更なる集客につなげ、地域活性化を図る。	・購入した備品の管理状況の確認

令和2年度安塚区地域協議会視察研修レポート【案】

氏名： _____

- ①○○事業（△△年度採択）□□町内会
事業費 1,100 千円、採択額 1,000 千円
・評価項目

項 目	評 価 点				
	優	普	普	点	劣
整備した施設や購入した備品がある場合、管理状況は適正か。	5	4	3	2	1

- ・感想・気づいた点等

- ②●●事業（▲▲年度採択）■ ■町内会
事業費 550 千円、採択額 500 千円
・評価項目

項 目	評 価 点				
	優	普	普	点	劣
整備した施設や購入した備品がある場合、管理状況は適正か。	5	4	3	2	1

- ・感想・気づいた点等

- ③○○○事業（△△△年度採択）□□□町内会
事業費 330 千円、採択額 300 千円
・評価項目

項 目	評 価 点				
	優	普	普	点	劣
整備した施設や購入した備品がある場合、管理状況は適正か。	5	4	3	2	1

- ・感想・気づいた点等

平成 29 年度安塚区地域協議会視察研修日程表

- 1 期 日 平成 29 年 11 月 6 日(月)
- 2 視察内容 地域活動支援事業（安塚区）採択事業の現状
- 3 日 程
- 9：00 安塚コミュニティプラザ 集合 イベント資材整備費支援事業視察
- 9：20 安塚コミュニティプラザ 発
- ↓
- 9：40 キューピットバレイ 着
安塚リバーサイドロード観桜会魅力アップ事業視察（直峰町内会）
※現在、安塚観光協会でLED投光器を保管
- 10：00 安塚おもてなし促進事業（安塚観光協会）
区内イベントに伴うにぎわい促進事業視察（安塚観光協会）
- 10：30 キューピットバレイ 発
- ↓
- 10：50 行野自治会 着 横尾義智記念館保全管理事業 視察
- 11：20 行野自治会 発 横尾義智記念公園管理事業 視察
- ↓
- 11：40 細野町内会 着 昼食（六夜山荘）
- 12：40 細野町内会 細野未来づくり交流推進事業視察
- 13：10 細野町内会 発
- ↓
- 13：50 朴の木自治会 着 沼木の里づくり推進事業視察
- 14：20 朴の木自治会 発
- ↓
- 15：00 安塚町内会 着 防火施設整備事業、自主防災資材の整備事業視察
- 15：25 安塚町内会 発
- ↓
- 15：30 安塚コミュニティプラザ 着
※視察研修終了、町内会等との意見交換会